

# 県連ニュース

2008年10月1日発行  
栃木県勤労者山岳連盟

栃木県勤労者山岳連盟 研修会の案内・・・	1
関東ブロック自然保護交流集会・・・	2
第6期ハイキング楽校 第5回実技山行～東黒沢～・・・	4

## 栃木県勤労者山岳連盟 研修会の案内

教育部 竹内

### ◆ 読図講習会

まだまだ読図のイロハから習いたいとの声が多く、初心者を対象とした講習会を企画いたします。

- 日時 11月15日(土)
- 講師 宇都宮ハイキングクラブの皆様
- 場所・時間は追ってご連絡します。

### ◆ 安全登山講習会(事故・事例研修会)

全国連盟遭難対策を担当しておられます井芹さんをお願いしました。

井芹さんは山の経験が豊かで、その講話は、私達のこれからの登山・ハイキングに大いに参考になります。

遭難しないために、実例に基づいた具体的なアドバイスがあります。

大勢の皆さんの参加をお待ちしています。

- ◇ 11月29日(土) 午前10時～12時 場所は追って連絡します。
- ◇ 講師 全国連盟 遭難対策担当 井芹さん

◆連絡 028(661)1091 竹内

栃木県勤労者山岳連盟 発行責任者：増田俊男 編集責任者：橋田弘一

321-0345 宇都宮市大谷町1109

<http://www.geocities.jp/tochigirosan/>

# 関東ブロック自然保護 交流集会



日時 10月18日(土)午後1時～10月19日(日)

## 山と地球規模の環境保全を考える

場所 労山全国事務所 参加費 無料



当日予定 10月18日(土)12:00 受付開始 13:00 開会

記念講演 大阪豊中労山 池田茂先生

13:30-14:30

大気汚染と自然保護 アマヤ式カプセルによる

NO2 簡易測定報告

各連盟の自然保護報告 14:45-16:45

栃木 神奈川 千葉 埼玉 茨城 群馬 東京

交流会 労山事務所1階ホール 17:00-19:00

宿泊：浜松町海員会館 宿泊費三千元 JR浜松町駅

下車3分 【緊急連絡先】都連盟自然保護林祥介 080-2006-

2073

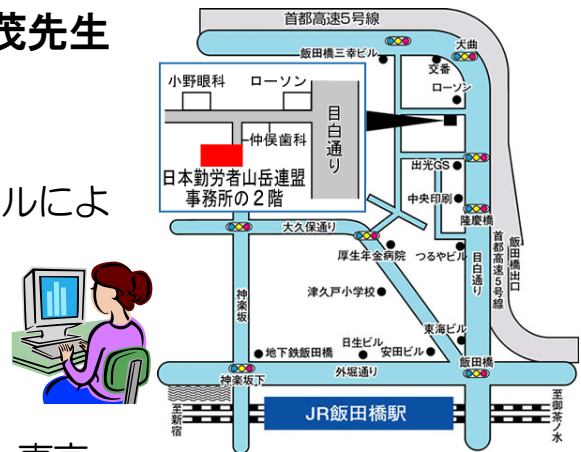
翌日予定 10月19日(日)10:00 京王線高尾山口駅集合 紅葉の高尾山とカプセル操

作

体験ハイク **当日参加も歓迎です**

申しこみは日帰り、泊まりの明記をお願いします！

東京都勤労者山岳連盟



## ご挨拶兼申込書

拝啓

酷暑の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。東京都勤労者山岳連盟自然保護委員会林でございます。日頃は大変お世話になっております。

さて、来る 10 月 18 日(土)-19(日)労山全国事務所 1 階会議室にて関東ブロック自然保護集会を開催いたします。当日は自然保護憲章第一章「山と地球規模の環境保全」をテーマに大阪豊中労山の池田茂先生を招き大気汚染と窒素酸化物の影響について講義を頂く予定をしています。また翌日はミシュラン三ツ星に輝いた紅葉の高尾山ハイクをおこないカプセルの操作実地訓練を行います。当日は各県連の皆様方の自然保護取り組みをお話しいただき夕方は交流会で楽しい情報交換の場としていきたいと考えてます。多忙とは存じますが是非出席いただきますようご検討お願い申し上げます。またご質問等がございましたら何なりとお申しつけ下さい。自愛のほど祈ります。

敬具

## 申込書

所属団体	氏名	電話番号	宿泊申込	当日申込	翌日申込

メールまたはファックスにて下記までお申し込みください。

[nd52123@ca2.so-net.ne.jp](mailto:nd52123@ca2.so-net.ne.jp) FAX03-34

## 第6期ハイキング楽校

# 第5回実技山行～東黒沢～

～渡渉・ロープ活用～日 時 : 2008年08月 17日 (日)

天 気 : 曇り時々晴れ

コース :

石橋P⇒岩船P⇒太田・足利IC⇒水上IC⇒白毛門登山口P・・・東黒沢に入渉・・・

ハナゲの滝付近にて渡渉訓練、固定ロープ 活用訓練・講習・・・白毛門登山口P⇒

入浴⇒水上IC⇒太田・足利IC⇒岩船P⇒石橋P

今回の第5回実技山行は、近年、雷雨などによる急な増水で沢を渡渉するケースが多いことから、実践的な渡渉実技及びロープを活用した安全対策等の実技講習を行うことになった。実技訓練の場所も、より実践的な渡渉訓練が可能な谷川岳ロープウェイ駅近くにある東黒沢である。ただ、出発してすぐに雨が激しく降ってきた為、大貫CL、八木沢SLからは、現地の様子を窺ってから、実技訓練の場所も含めて実技講習の内容を決めたいとお話があった。

以下、ハイキング楽校生の感想文を読んでください

<第5回東黒沢実技山行(渡渉)記録・感想文> 宇都宮HC 神山光子

いつものバスは、石橋Pを予定よりも早く朝5時少し前に出発したが、途中岩船Pで仲間達を乗せ、水上方面に 出発する頃には、本降りの雨になっていました。

途中、高速道路から見る眼下の川は、水量も多く濁流と化しているなど、この雨の中で渡渉訓練ができるのか 不安に気持でいっぱいでしたが、水上ICを降りて谷川方面に向かう頃には晴れ間がのぞき、湯檜曾川も雨の影響 を感じさせない通常の状態だったので安心しました。

最終休憩地の沢の状況を確認して、東黒沢での渡渉講習は予定通り実行することが決まった。白毛門登山口Pに ついた頃には、強い日差しがあり、入念なUV対策とストレッチをし、歩き出しました。出発して、すぐに東黒沢を渡渉するコースに入る。早速、ストックを活用した渡渉実技(?)です。もう一度の渡渉実技 の後、ハナゲの滝に到着しました。このハナゲの滝付近にて渡渉訓練を行うことになりました。

まず、スリング、安環付きカラビナで簡易ハーネス(ウエスト)を装着し、1～4班が班毎に分かれて1～3人徒渉訓練開始。私たち1班も吉岡班長の特訓(?)が始まりました。ズリ足で川底を探りながら歩く、一人よりも、二人で、 三人になると流れの勢いに負けず、より安全に渡



スクラム徒渉訓練(1・2班)



スクラム徒渉訓練  
(3・4班)

渉できる。(人の世も同じですね 人の和・チームワーク・仲間・・・)

続いて、今後、難場通過の際にも必要となるロープ活用法についての訓練です。

まず、岩場に固定ロープを張り、マッシュャーで確保しながら登り、ムンターで降りる訓練を行いました。

マッシュャーロープの使い方やムンターについて、班長の指導を受け、6月のセルフレスキューの訓練を思い出しながら、ムンターでの懸垂降下訓練をなんとか無事終えたと思った瞬間、足を踏み外してバランスを崩してしまい 右手甲を打撲、名誉(?)の負

傷・・・。

ロープとカラビナの結び方に確信が持てず、不安感でいっぱいでしたが、実際に岩場を下降するとなると、ロープを持つ手の位置 と足でバランスをとることなど、実際に経験しないと掴めない ことも身をもって体験できました・・・。

次に、少し下流に移動して、ロープを活用した渡渉訓練を行いました。

班毎に、一人がロープで確保して、もう一人が対岸へ渡渉して、固定ロープを張り、他のメンバーは、ウエストロープを使って徒渉する訓練を行った。(班毎に繰り返し訓練)

ムンターや腰からみでの確保、ツウーハーフ結びでのロープ固定法・8の字結びなどなど・・・なかなか 一度では頭に入りませんでした。



ハナゲの滝にて記念撮影

振り返ってみると、私にとって今日一日は、不安と挑戦そして悪夢～装備の判断ミスによるズックの靴底剥離。徒渉訓練でも足を滑らし臀部強打とずぶ濡れ状態・・・。岩場下降の際の名誉(?)の負傷～のような一日 でしたが、スリルに満ちた充実の一日でした。

そして、「相手の速度・相手の気持ちを考えながら、思いやりながら確保ロープを渡すこと」との大貫CLの言葉が、本日一番心に残りました。怪しい雲にハラハラさせられながらの、実り多き渡渉の勉強 であり、ただ安全・安心・楽しいの、ハイキングの楽校ではなく、人生の楽校で学んでいるような気がいたしました。

温泉で冷えた体と、傷を癒し。4時 湯テルメ谷川温泉を後にして、無事帰路に着きました。いつもながら、大貫CL、八木沢SLをはじめ先輩の皆様、もうしばらくお世話になります。ありがとうございました。

神山光子